

○新たな都市間交流

- ・神話や灯台でつながりのある5都市と
の新たな交流



○外国人観光客の誘致

- ・欧米、台湾、香港等をターゲットとし、
PR動画「IZUMO」の配信
- ・外国版ウェブサイトによるデジタルマー
ケティング、多言語化等の機能強化
など実施

- ・山陰インバウンド機構等と連携したプ
ロモーション活動

○観光資源の活用・発信

- ・JR等各種団体と一体となった取組
に参画し、誘客拡大を推進
- ・出雲食文化PR事業による出雲の個
性ある食の魅力を発信

- ・市全域にわたって観光資源の掘り起
し、体験メニューの開発、旅行商品化

○文化財の保護・活用

- ・旧大社駅本屋の保存修理
- ・鰐淵寺境内の釈迦堂の改修
- ・国史跡の追加指定をめざす「出雲
国山陰道跡」の発掘調査

- ・田儀櫻井家たたら製鉄遺跡の保存
整備

○公共交通ネットワーク

- ・バスロケーションシステム・交通IC

カードの導入検討

- ・一畑電車の設備の改良、維持に対
する補助の実施

- ・出雲縁結び空港の機能強化、各路
線の利用促進、新規路線の就航への
働きかけ

- ・新幹線について、基本計画から整備
計画格上げとなるよう圏域の市と連
携

- ・山陰道出雲湖陵道路、湖陵多伎道
路の事業促進



写真提供：国土交通省松江国道事務所

- ・境港出雲道路、県管理国道、県道
の整備促進

- ・都市計画道路の整備促進

- ・幹線市道や生活道路、下水路の整
備

- ・道路橋や道路トンネル等の長寿命化

4. 住みやすさNo.1プロジェクト

(1) 安全・安心

○安全・安心のまちづくり

- ・「防災安全部」「原子力防災室」の

新設による災害対応体制強化

- ・新たな防災行政無線システム導入の
調査等実施、戸別受信機未設置地
域への設置に向けた調査実施

- ・避難所の環境整備

- ・原子力防災対策について、中国電力
に立地自治体と同様の安全協定の締
結を引き続き要請、また広域避難
計画の見直しを実施

- ・建築物の耐震対策、ブロック塀の安
全対策

- ・高齢者の運転免許自主返納の支援、
夜光反射材着用の推進

- ・大社消防署庁舎整備、消防団活性
化に向けた施設の整備等

- ・斐伊川本川堤防や宍道湖西岸堤防
の強化を国に要請

- ・新内藤川、赤川等の県管理河川の
早期改修を県に要請

○子育て支援

- ・第二期出雲市子ども・子育て支援
事業計画策定に着手

- ・子ども医療費制度の新設

- ・ひとり親家庭の子どもに対する学習
支援の実施

- ・待機児童解消に向けた、認可保育
所新設、保育士の確保・定着化等
の受入体制の拡充

- ・幼稚園における一時預かり等の実施

- ・外国籍児童の対応のため、幼稚園へ
音声翻訳機の導入を推進

- ・幼児教育・保育の無償化への対応の
ための体制整備、周知徹底

- ・児童クラブは、市設置クラブの整備、
社会福祉法人等の参入による受入体

制拡大

- ・「子ども家庭相談室」を新設し、虐
待等の困難を抱える児童、発達支
援が必要な児童及び家庭の支援体
制の強化

○健康づくり・福祉の充実

- ・自死対策への取組の強化

- ・身体的精神的に不調がある産婦への
「産後ケア」事業を新たに実施

- ・生活困窮者支援は、相談、就労準備、
家計改善の各支援を実施し早期の生
活再建を支援

- ・認知症グループホームの増設、介護
人材の確保と定着

- ・住民主体の集いの場の立ち上げ支援、
リハビリテーション専門職の派遣等地
域の介護予防活動を支援

○総合医療センター

- ・早期の在宅復帰と予防医療の充実

- ・新公立病院改革プランに基づく経営
の効率化

○消費者教育・選挙

- ・成年年齢引き下げに伴う18歳、19歳
の消費者被害の拡大防止への取組

- ・大型ショッピングセンター内での期日前
投票所の新設

(2) 人材育成

○教育行政の推進

- ・確かな学力定着に向けた、教員の授
業力向上やプリント配信システムの導
入

- ・小学校における外国語教育を全校で
実施



- ・日本語指導が必要な児童生徒への支援として初期集中指導教室の開設、母語ができる日本語指導補助員の増員
- ・不登校等への対策や特別支援教育について、新たに児童生徒のソーシャルスキルや自尊感情育成に向けた新たな取組の実施
- ・檜山と東小学校の統合及び平田地域西部4地区の小学校の統合に向けた準備
- ・西田小学校校舎、国富小学校屋内運動場、高松幼稚園、中部幼稚園の耐震化対策
- ・檜山小学校と東小学校の統合による新設小学校建築、平田地域西部4地区の小学校の統合による新設小学校の測量造成設計
- ・神西小学校北校舎改築、新斐川学校給食センターの整備
- ・社会教育における家庭・地域・学校との連携強化

- ・科学館の有効活用
- ・高等教育機関との連携強化、支援の実施、工科系高等教育機関の将来的な立地の検討

○市民協働によるまちづくり

- ・地域課題の解決に取り組む市民団体の活動を支援

○男女共同参画

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進、「地域」をテーマにした啓発、若年層へのDV防止の啓発

○子ども・若者の育成、支援

- ・青少年育成市民会議や子ども・若者支援センター等の連携により、子ども、若者の自立・活躍を支援

○芸術文化・スポーツの振興

- ・松竹大歌舞伎の上演等、出雲総合芸術文化祭の開催、出雲芸術アカデミー等による芸術文化の振興
- ・ソフトボール女子日本代表の、出雲キャンプ実施によるオリンピックに向けた機運の醸成



- ・新体育館の整備手法決定、建設用地取得に向けた準備
- ・第3次子ども読書活動推進計画の策定

○人権・同和教育

- ・同和問題をはじめとするさまざまな人権問題解決の教育、啓発

(3) 環境

○環境のまちづくり

- ・トキによるまちづくりを広く情報発信、7月からはトキの一般公開を本格的に実施



- ・斐伊川水系における大型水鳥類の生息環境づくり、これらを生かした地域経済の活性化を検討
- ・次期可燃ごみ処理施設の建設着手、アクセス道路の改良、新設工事の推進

○上水道・下水道

- ・安全性の確保と経営安定化に向け

た、水道料金の見直し

- ・新向山配水系基幹管路の整備、水道施設の更新や耐震性の向上
- ・県内水道事業体の広域連携の検討
- ・下水道施設の計画的な更新、長寿命化を推進
- ・下水道事業を公営企業として事業運営を開始し、これに伴い上下水道事業を統合した事業体として組織改編

IV. 結び

新年度は、次の時代へと変わる節目の年であります。

地方分権推進の流れのなかで、平成の大合併によって誕生した本市も15年目を迎えます。この間、雇用創出をはじめ、さまざまな角度から人口減少対策を展開した結果、定住人口の増加として実を結びつつあります。

現在、国においては、急激な人口減少を見据え、複数の自治体による「圏域」など、新たな行政の枠組みについても検討が始まっています。迎える新時代においては、更なる自治体連携を図り、より効率的で効果的な市政運営を実施していくことが求められます。

時代の変化・潮流を見極め、本市の更なる発展への扉を開くべく、「進取果敢」の精神を持って、市政運営に全力を尽くしてまいります。